

## 「健康で長生き」を願って Scientific Approaches to Healthy Longevity Using the Analytical Instruments

**生**きとし生ける人,万人の願いが「健康で長生き」であることは言うまでもありません。しかし,人は時として病気にかかります。この病気を治すために医学は発展してきました。

一口に病気と言っても千差万別で,治療方法も多岐にわたっています。とくに20世紀の後半には,科学技術の進歩から多くの病因が解明され,医療技術も飛躍的に進歩を遂げました。その一翼を担ってきたのが「分析」であるといっても過言ではないでしょう。

医学の父ヒポクラテスは病人のすぐ横で尿を調べたとされていますが,今日では,病因の特定,治療効果のモニタリング,回復状況の確認など医療のさまざまな場面で臨床検査機器が用いられています。

最近,インフォームド・コンセントの観点からも,EBM(Evidence Based Medicine),つまり「科学的根拠に基づく医療」を推進して,医療の質を向上し,医療の経済性や効率を改善しようという動きが活発化しています。このとき,裏付けとなる科学的な根拠の一つが,各種の分析機器を用いて得られる臨床検査の結果です。

堀場製作所は2003年1月26日に創立50周年を迎えようとしています。この間,分析機器の専門メーカーとして数多くの分析機器を開発し,製品として世に送り出し,産業や社会の発展に寄与してまいりました。

当社は,1996年に臨床検査機器の専門メーカーであるフランスのABX社を,また,1997年には分光分析に必要不可欠となる回折格子技術をベースに各種光学装置の世界のトップメーカーである同じくフランスのジョバンイボン社をホリバグループに加え,分析技術の幅をさらに広げております。

本号では,医療関係を中心としたメディカル・バイオ分野におけるホリバグループの製品・分析技術の一端を,ユーザの先生方からの貴重なご意見や期待とともにご紹介します。

現在,ホリバの分析機器は,メディカル・バイオの基礎研究から臨床の第一線まで幅広く使っていただいておりますが,まだまだ十分とは言えません。

今後は,これらの分析技術の研究開発に努め,お客様のご要望にあった製品を供給していくことが分析・計測機器メーカーの最大の使命と考えています。とくに,これからの臨床検査機器は,医療施設の専門家だけでなく,ご家庭の皆様が手軽にはかれることが大きな課題だと認識しています。

今後も分析技術・製品のさらなる発展を通して,人類永遠の願いである「健康で長生き」できる社会の実現に貢献していきたいと願っています。



臼井 誠次  
Seiji USUI

医用システム統括部  
統括部長